

Title	鈴木直樹教授：略歴と主要業績
Sub Title	Kurzbiographie Naoki Suzumura
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要発行委員会
Publication year	2019
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. ドイツ語学・文学 (Hiyoshi-Studien zur Germanistik). No.59 (2019. ) ,p.141- 144
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	鈴木直樹教授追悼記念号 = Sonderheft zum Andenken an Prof. Naoki Suzumura
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032372-20191031-0141">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032372-20191031-0141</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 鈴木 直樹 教授 略歴と主要業績

### 略歴

- 1963年11月30日 浜松市に生まれる  
 1986年3月 東京外国語大学外国語学部卒業  
 1986年4月 学習院大学大学院博士前期課程入学  
 1991年3月 学習院大学大学院博士後期課程単位取得退学  
 1992年4月 学習院大学文学部助手  
 1994年4月 慶應義塾大学経済学部助手  
 1995年4月 慶應義塾大学経済学部助教授  
 2001年4月 オーストリア・ザルツブルク大学留学（2003年3月帰国）  
 2003年4月 慶應義塾大学経済学部教授  
 2017年5月 慶應義塾常任理事  
 2018年5月16日 横浜市の自宅にて死去

### 学内役職

- 1995年 経済学部学習指導副主任（～1997年）  
 2005年 学生総合センター副部長（日吉支部）（～2007年）  
 同年 通信教育部学習指導副主任（～2007年）  
 同年 経済学部学習指導副主任（～2007年）  
 同年 外国語教育研究センター語種別主任（～2007年）  
 2008年 ハラスメント防止委員会地区相談員（～2013年）  
 2010年 学生総合センター委員（日吉支部）（～2011年）  
 同年 ハラスメント防止委員会副委員長（～2013年）  
 2011年 学生総合センター副部長（日吉支部）（～2017年）  
 2012年 外国語学校長（～2015年）  
 2013年4月 外国語教育研究センター副所長（～同年9月）  
 同年10月 外国語教育研究センター所長（～2014年）  
 2014年 GICセンター所長（～2018年）

### その他（学外委員など）

- 1990年 日本独文学会語学ゼミナール実行委員（～1992年）  
 1995年 日本独文学会誌「ドイツ文学」編集委員（～1999年）  
 2003年 ドイツ語学文学振興会誌「ひろの」編集委員  
 2003年 日本独文学会誌「ドイツ文学」編集委員（～2005年）

### 主要業績

#### 【共著書】

- 『ドイツ語統語論の諸相：早川東三先生古希記念論文集』（同学社，1999年）  
 『ドイツ語を考える ことばについての小論集』（三修社，2008年）

#### 【論文】

- 「日独間にみられる外来語について」（東京外国語大学卒業論文，1986年）  
 「Scheinen/Drohen/Versprechen/Pflegen+zu 不定詞に関する若干の考察」（学習院大学修士論文，1988年）  
 「Scheinen/Drohen/Versprechen/Pflegen—その意味的・イメージ的側面」（ドイツ語学文学研究会「Symposium」(4)，1989年）  
 「Scheinen/Drohen/Versprechen/Pflegen—その統語的・構造的側面」（ドイツ文法理論研究会「エネルギー」(15)，1989年）  
 「Zur Soderstellung des prominalen Dativs und Akkusativs im Deutschen」（日本独文学会「ドイツ語教育部会会報」(38)，1990年）  
 「コブラ性」（東京外国語大学大学院ドイツ語学文学研究会「Der Keim」(13/14)，1991年）  
 「いわゆる「広い同格」の統語的解釈について」（「國學院大學外国語研究室紀要 Walpurgis '91」，1991年）  
 「分裂文と叙述名詞」（学習院大学「ドイツ文学語学研究」(15)，1991年）  
 「先行詞否定と関係文の読み」（「学習院大学文学部研究年報」(38)，1992年）  
 「海外の言語学<ドイツ>」（大修館書店「月刊言語」21(10)，1992年9月，共著）  
 「sein 文に現れる不定冠詞付き名詞句の読み」（学習院大学文学部ドイツ文学科「ドイツ文学語学研究：橋本郁雄教授古希記念論文集」，1993年）  
 「分離名詞句—その歴史と意味，およびそこにもみる移動理論の限界」（「慶應義塾大学日吉紀要 ドイツ語学・文学」(19)，1994年）

- 「能格動詞と呼ばれる動詞について—統語論の立場から」（「慶應義塾大学日吉紀要 ドイツ語学・文学」(20), 1995年)
- 「外来語研究の諸相」（慶應義塾大学通信教育部「三色旗」(605), 1998年)
- 「SeemとScheinen：その補部に許される時間」（「学習院大学ドイツ文学会研究論集」(3), 1999年)
- 「名詞派生動詞の形成と語彙概念構造—分離前つづり、および分離・非分離両用の前つづりを持つ動詞の場合」（「慶應義塾大学日吉紀要 ドイツ語学・文学」(29), 1999年)
- 「ドイツ語の状態受動に関する一考察」（「慶應義塾大学日吉紀要 ドイツ語学・文学」(40), 2005年)
- 「言語史研究の楽しみ、言語史研究の苦悩」（慶應義塾大学通信教育部「三色旗」(704), 2006年)
- 「他動性の消失原理—ノルド語のS型受動を通してみるドイツ語のwerden受動」（「慶應義塾大学日吉紀要 ドイツ語学・文学」(48), 2011年)
- 「他動性の消失と中間構文のコード化」（日本独文学会「ドイツ文学」(150), 2015年)

**【教科書・参考書・辞典（共著を含む）】**

- 『ドイツ—ことばの旅・文化の旅』（朝日出版社, 1989年）
- 『ドイツ語夏休み帳』（同学社, 1991年）
- 『集英社国語辞典』（集英社, 1993年）
- 『ドイツ文法おもちゃ箱』（朝日出版社, 1993年）
- 『新アルファ独和辞典』（三修社, 1993年）
- 『ドイツ言語学辞典』（紀伊国屋書店, 1994年）
- 『Ja！ドイツ語で行こう！』（朝日出版社, 1995年）
- 『集英社ポケット国語辞典』（集英社, 1996年）
- 『ロマンチック街道（文法読本）』（郁文堂, 1997年）
- 『集英社ポケットカタカナ語辞典』（集英社, 1999年）
- 『新・ドイツ語第三部』（慶應義塾大学出版会, 2009年）
- 『新・ドイツ語第二部』（慶應義塾大学出版会, 2016年）

**【講演・口頭発表】**

- 「与格と対格の問題」（ドイツ語教育問題研究会, 1988年）
- 「Subject Raisingが生じる不定詞構造について」（日本独文学会秋季研究発表会, 1988年）

「名詞派生動詞の形成と語彙概念構造」(日本独文学会春季研究発表会, 1999年)

「状態受動に関する一考察」(日本独文学会春季研究発表会, 2003年)

「S型受動とドイツ語」(日本独文学会春季研究発表会, 2010年)

**【エッセイなど】**

三修社「基礎ドイツ語」への執筆(1994年～1999年)

「はじめの一歩」(2000年)

「海外のドイツ語学研究—ザルツブルク大学」(2002年)

「ザルツブルクはお椀がいっぱい!」(ドイツ語学文学振興会「ひろの」(42),  
2002年)

「ザルツブルクは雨ばかり」(同学社「ラテルネ」(89), 2003年)

「文法なんかキライ, というあ・な・たへ」(慶應義塾大学通信教育部「三色旗」  
(674), 2004年)